

1. 研究会の目的

本研究会は、地下熱を利用するヒートポンプシステム及び、地下蓄熱技術などに関する情報交換・技術調査・研究開発・技術標準化などの活動を通じ、会員相互の啓発と技術水準の向上を図ることを目的とします。

2. 組織及び運営

本研究会は、大学・研究機関等の研究者をはじめ、設備メーカー・エネルギー・ゼネコン・設計事務所・コンサルティング・その他各種設備関連企業の技術者・研究者などから構成され、各種勉強会・講演会・国内外の調査・研究ならびに技術交流・研究発表会・普及啓発活動を行います。

また、IEA（国際エネルギー機関）エネルギー貯蔵技術協力プログラム（ES TCP）における各種研究成果・情報についても、適宜紹介しています。

3. これまでの活動状況

本研究会は、平成14年度以降、国内外各地において毎年4回程度の研究会（研究発表会、講演会、見学会など）を開催してまいりました。また、国際共同研究としてIEAヒートポンプ技術協力プログラム Annex29「土壌（地中）熱源ヒートポンプ市場と技術の障壁の克服」（平成22年終了）ならびにIEAエネルギー貯蔵技術協力プログラム Annex21「（地中熱利用における）熱応答試験」（平成23年終了）、同 Annex27「地中採熱ボアホール蓄熱における設計・施工・運転時の品質管理」（令和元年終了）の分科会活動や、海外調査活動なども行ってまいりました。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルスの影響により、リモート形式を取り入れた講演会などを実施しました。

4. 令和3年度の活動内容

講演会、地下熱利用施設の見学会、研究発表会など年4回程度の研究会を開催する予定です。あわせて、令和2年度実施予定で順延となった各行事につきましても、順次開催をいたします。（なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催内容や方式を変更する場合があります。）

5. 主査

主査：北海道大学大学院 工学研究院 長野 克則 教授

6. 活動期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日（毎年募集）

7. 入会資格

以下のいずれかに該当する法人

- ① ヒートポンプ・蓄熱センター賛助会員 もしくは 同賛助会入会を検討している法人
- ② 令和2年度 地下熱利用とヒートポンプシステム研究会 会員

8. 会費

年会費は1年間の一括払いとし、申込書をいただいた後に請求書を送付します。

ヒートポンプ・蓄熱センター賛助会員法人：77,000円/社・年（消費税10%込み）

〃 非賛助会員法人：115,500円/社・年（消費税10%込み）

9. 参加申込方法及び期限

別紙（参加申込書）ご記入の上、郵送またはE-mail、FAXにて事務局宛にお送りください。
お申込は随時受け付けておりますが、期中でご入会の場合も年会費は上記額の通りとなります旨
ご了承ください。

10. 連絡先（事務局）

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

地下熱利用とヒートポンプシステム研究会 事務局 首藤（しゅとう）

(TEL : 03-5643-2404 FAX : 03-5641-4501 E-mail : shuto.takayoshi@hptc.j.or.jp)

以 上